

体験
無料

あそんで・
かんじて・
かんがえよう

やっ み え て よう ほん 展



SINCE 2023

“ Yattemiyou Ehonten ”

produced by KOHKEN group

<https://www.kohken-l-p.co.jp/tryehon/>



[主催] 広研印刷株式会社 / 株式会社 広報技術研究所

豊島区

第1位

アクセランキング
アート系部門
無料部門

※2024年8月18日～8月25日の期間中、
[いこーよ]サイト内アクセランキングの
集計によるもの

さあ、
いっしょに
えほんを
やってみよう！

Let's Try "Ehon"!!
produced by KOHKEN group

世界にひとつだけの
絵本をつくる
遊びながら学べる
ワークショップ



きっかけは
絵本やものづくりの楽しさを
たくさん子どもたちと
共有したいという想い

あるひとりの社員の「うちの会社は『本好き』が多いから
お互いの持っている本を持ち寄ったイベントをしたいね!」
という言葉を発端に、はじめは社内イベントを考えていました。

企画を進めるうちに、
「これは社外の方にも楽しんでもらえるのでは?」と企画が膨らんでいき…
日頃から本づくりに携わる広研グループだからこそできる
本の魅力、本づくりの魅力をあらためて発信できるような
体験型のイベントを開催することになりました。



やってみようえほん展で “やってみよう”



折って



縦じて切って



考えて



塗って貼って



間違いを探して



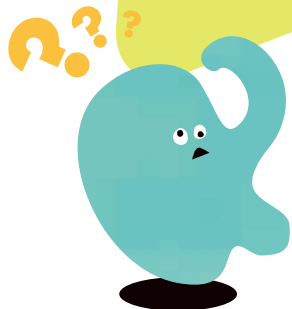
ペタペタして



デコって



世界にひとつだけの
絵本をつくろう！





※vol.3実績を掲載しています。

A 絵本のベースづくり

まずは折ってベースをつくろう



シンボルのテントの
周りで、1枚の紙を手
順に沿って折って、
絵本のベースをつく
ります。

B 綴じ・断裁

綴じて切ってもらおう



折ったものを芯で綴
じて断裁します。この
工程は子どもには危
険なので、プロが実
演してお渡します。

C 企画・編集

キャラクターに名前をつけて設定を考えよう



キャラクターの名前
や好きなもの、場所
を決めて、書き込み
ます。ふせんに書いて
パネルに貼って、
みんなで共有。

D デザイン

フォントを選び色彩設計 (色塗り) をしよう



色を塗ったり、フォ
ントを選びます。普段
は使わないようなプ
ロ仕様の道具やフォ
ントという概念に触
れるコーナー。

E 検版・校閲

前のページと“ベラ検”して違いを見つけよう



ベラベラめくって前
のページと見比べて
間違い探し。検版作
業を遊びながら体験
します。

F 印刷

疑似網点 (ブチブチスタンプ) で印刷体験だ



緩衝材のブチブチ部
分にインクをつけて、
いろんな色を作って
印刷網点の疑似体
験をします。

G 製本

表紙を貼ってパーツを貼ってデコろう



ダンボールの表紙を
貼って、そこに布・
紙・ボタンなど様々
な部材を好きなだけ
デコレーション。

H 納品

良本を納品して対価 (お土産) をもらおう



できあがったものを
親子で共有。納品書
にサインをもらっ
たら、対価 (おみやげ)
をもらって完了!

※作品は持ち帰れます。



えほんを“やる”

= 能動と小さな“？”

「やる」という動詞に対して

「えほん」を目的語に配することで、

子どもにとっても大人にとっても

絵本づくりが能動的なコンテンツになることを

目的としたタイトル。

自分の身近にあるものがどうやってできているのか？

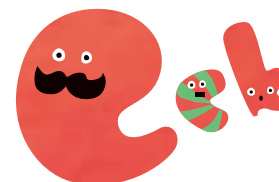
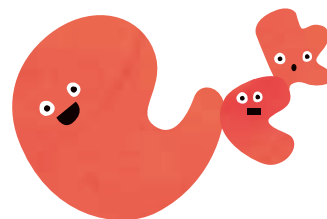
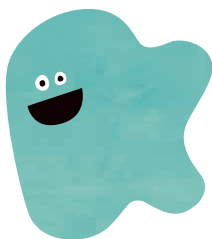
誰が作っているのか？

もしかしたら自分も何かできるかも？

そんな小さな「？」が生まれるような場づくりを

目指しています。

NAMING : 西田夏海 / DESIGN : 坂本雅志

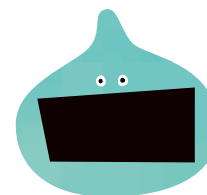


設定は何もありません

メインキャラクターとなる青い子も、その友達の赤い子も、名前や決まった形はありません。

ワークショップの参加者がそのときその場所で感じたことを
このキャラクターに投影できるようにあえて「なんの設定もない」という設定」に。

DESIGN : 西田夏海



～あそんで・かんじて・かんがえよう～

やってみようえほん展

[対 象] 来場が可能であればどなたでも参加可能
対象年齢の適齢は4～10歳程度

[参 加 費] 無料

[会 場] 高田馬場BABA-BASE
(〒171-0033 東京都豊島区高田3-3-16 広研印刷新館1F)

[主 催] 広研印刷株式会社／株式会社 広報技術研究所

[公式サイト] <https://www.kohken-l-p.co.jp/tryehon/>

[予約方法] 上記サイトより ※予約なしでの当日飛び込みも可

[実施回数] 2023年：2回、2024年：4回（予定）

主催の広研印刷、広報技術研究所が中心となり、
その他、企画にご賛同いただいた協力企業様からの商品・資材提供などを受け
広研印刷社屋内のクリエイティブスペース[BABA-BASE]にて開催しています。





PROBLEMS

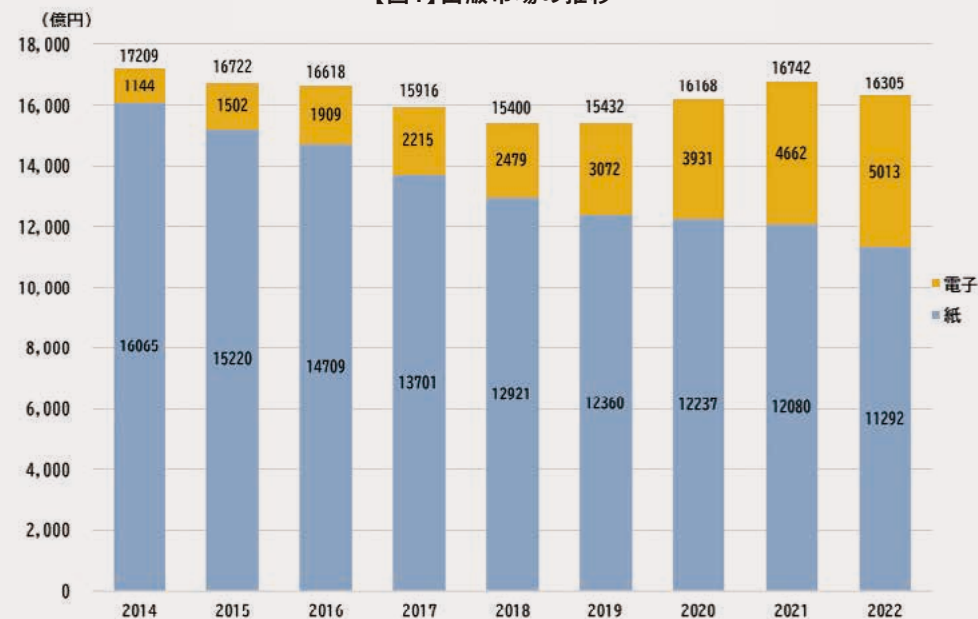
1

「紙の本離れ」への アプローチ

デジタルコンテンツの発達、スマートフォンの普及などによって、「紙の本離れ」が加速(図1)。電子書籍のメリットがある一方で、紙の本ならではの五感に働きかける良さを伝えることで、未来を担う子どもたちに、本に対してあらためて興味を持ってもらいたいと考えました。

印刷・出版に関わる企業として、エンドユーザーと直接的にリレーションをつくることで、より良いコンテンツを作り上げるため(PDCAの実行)に、ワークショップという形式を選択しました。

【図1】出版市場の推移



資料：出版指標 年報 2023年版（公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所）

出典：経済産業省ウェブサイト

(https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20231108hitokoto.html) を加工して作成

PROBLEMS

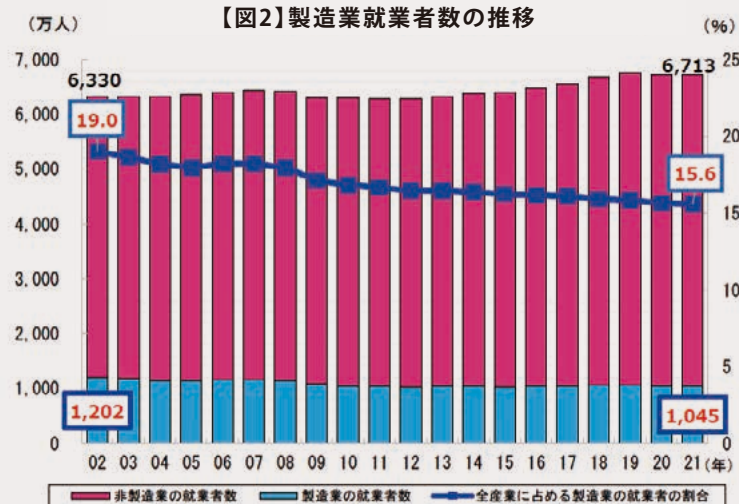
2

ものづくりの現場の 若者離れへの危機感

印刷業という製造業に携わる中で実感している「ものづくりの現場の若者の減少」という課題があります。2022年時点の経済産業省の報告書によると、直近の20年間で製造業人口は約157万人減少、中でも34歳以下の若年層は、約121万人の減少を記録（図2,3）。

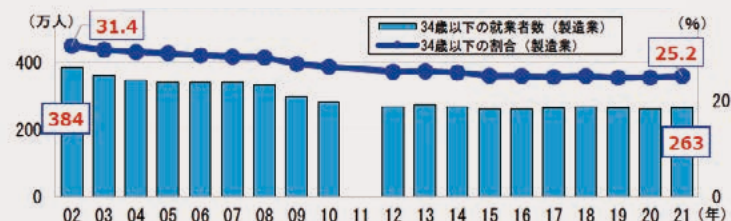
未来を担う子どもたちに、子どもの頃からものづくりに親しんでもらうことで、製造業の面白みを体感してもらいたいと考えています。

【図2】製造業就業者数の推移



備考：2011年は、東日本大震災の影響により、補完推計値を用いた。分類不能の産業は非製造業に含む。
資料：総務省「労働力調査」（2022年3月）

【図3】若年就業者（34歳以下）の推移（製造業）



備考：2011年は、東日本大震災の影響により、全国集計結果が存在しない。分類不能の産業は非製造業に含む。
資料：総務省「労働力調査」（2022年3月）

出典：「2022年版ものづくり白書」（経済産業省）を加工して作成

PROBLEMS

3

企業の廃棄物の実情を 子育て層と共有する

印刷業では、日々たくさんの廃材が発生しています。それらをこのワークショップに活用することでロス削減を実行。さらに他業界でもサンプル品・廃盤品・中間製品・端材など、リサイクル、アップサイクルできるものがたくさんあるのでは？という視点から、[①文具として使える製品そのもの][②材料まで分解して使えるもの]という2つのカテゴリについて、企画に賛同いただける企業様を探し、毎回さまざまな資材をご提供いただいています。年間数回のワークショップの中で、解決できるロス量は多くはありません。しかし、この実情をビジネスパーソンでもある子育て層と共有することで、子どもたちの未来へ残す環境への配慮などについて、一緒に考えていくきっかけづくりを目指しています。

自社・協力企業の廃材
(サンプル品・廃盤品・
中間製品・端材など)



ワークショップでの活用



ユーザーの気付き



企業へのフィードバック
～新しい展開

広研印刷株式会社



<https://www.kohken-l-p.co.jp/>

株式会社 広報技術研究所



<https://kohogijutsu.co.jp/>



協力企業開拓
製造
資材調達
運営



企画
デザイン
プロモーション

累計
協力企業数

29社

※やってみようえほんvol.1～4累計

株式会社アイリス／株式会社きらぼし銀行／株式会社クラウン・パッケージ／
株式会社ゴールドウイン／コニシ株式会社／セーラー万年筆株式会社／セメダイン株式会社／
タキヒヨー株式会社／株式会社竹尾／株式会社トンゴ鉛筆／ハウス食品株式会社／
パナソニック株式会社／フロンティアジャパン株式会社／株式会社ベースボール・マガジン社／
株式会社マック／株式会社モリサワ／株式会社リボンワーク 他（敬称略・50音順）

自社の印刷廃材だけでなく 企業様からご提供いただいた 廃盤商品・廃資材などを活用

ご提供いただいたものは、
ワークショップ内で製品のまま使用したり、
資材類は内容に合わせて加工したりと、
使用方法是当社にお任せいただく形にも
ご賛同いただける企業さまにご協力をいただいています。

「子どもたちにより自由に楽しんでもらいたい」
という考えは持ちながらも、
企業様のブランドイメージを損ねないよう
各企業様への企画趣旨説明を毎回実施しています。

※過去実績数や各社の協力内容などについては、お問合せください。
各社様のご承諾の範囲内にて、ご回答させていただきます。



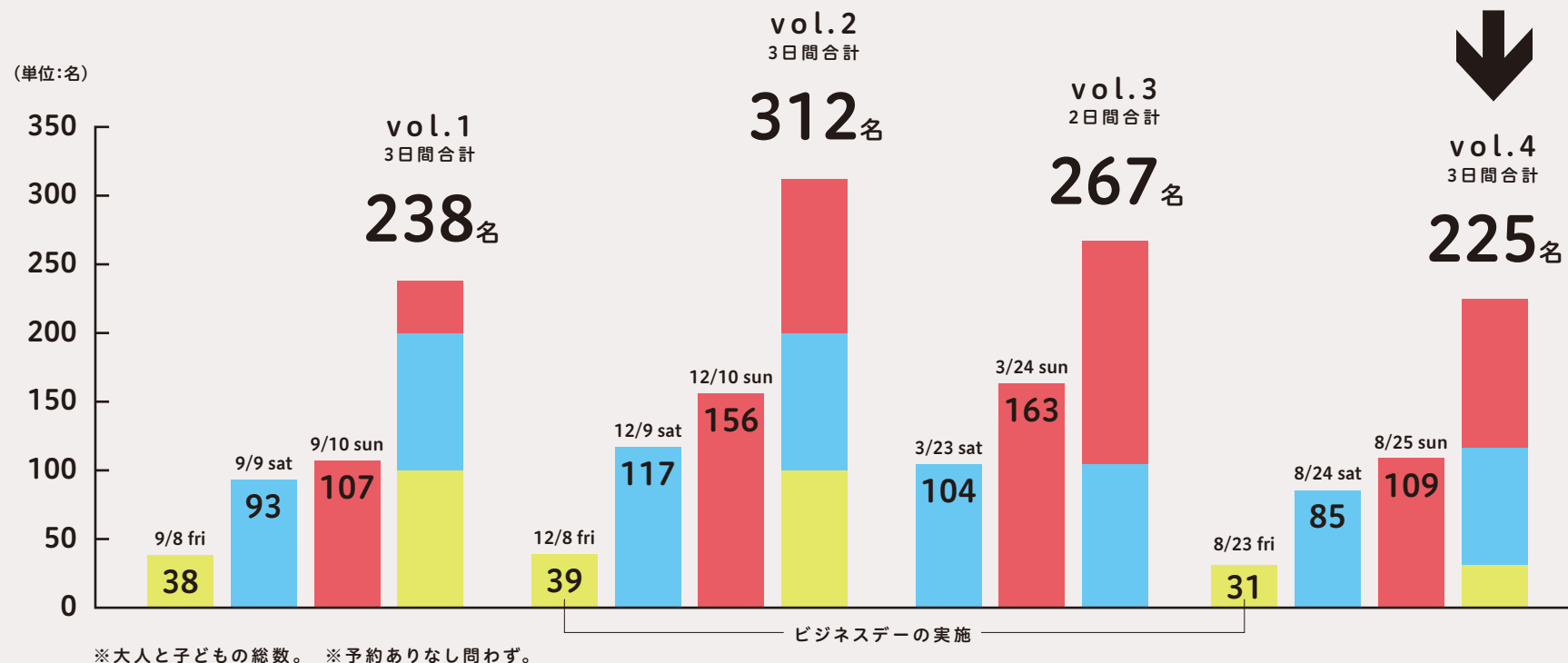
初開催依頼、延べ1,000人以上の方に
お楽しみいただいています！

累計来場者数

1,042名

※やってみようえほん展 vol.1～4 累計来場者数

vol.1～4 来場者数推移





お客様の声（保護者）

- ・納品書までであるのが流石。ここまで徹底的にやってもらえると親としても嬉しい。
- ・子どもの将来の夢が絵本作家で、絵本に関するイベントを探して沢山参加しており、今回のイベントは其中でも一番喜んでいたし自分も楽しめた。
- ・親も楽しめるイベントはあまりなかったので、またやるなら、是非来たい。
- ・夏休みはどこも混んでいたが、この会場くらい的人数だと楽。
- ・中綴じの段階を見られたのがよかった。本をどう作っているか興味深く見学できた。

- ・たくさんのパーツがあって楽しかった。
- ・トゲトゲの芝生をこんな風（絵本）に使えて楽しかった。
- ・「手作り感」溢れるイベントで良かった。
- ・SDGsの観点などから廃材を利用している点が良かった。
- ・印刷工程での網点の表現・説明がすごい。プチプチの活用に「なるほど」と思った。
- ・本の作り方は勉強になった。大人でも知らない人が多いと思う。
- ・あまりにも良かったから友達にもLINEしてみた。

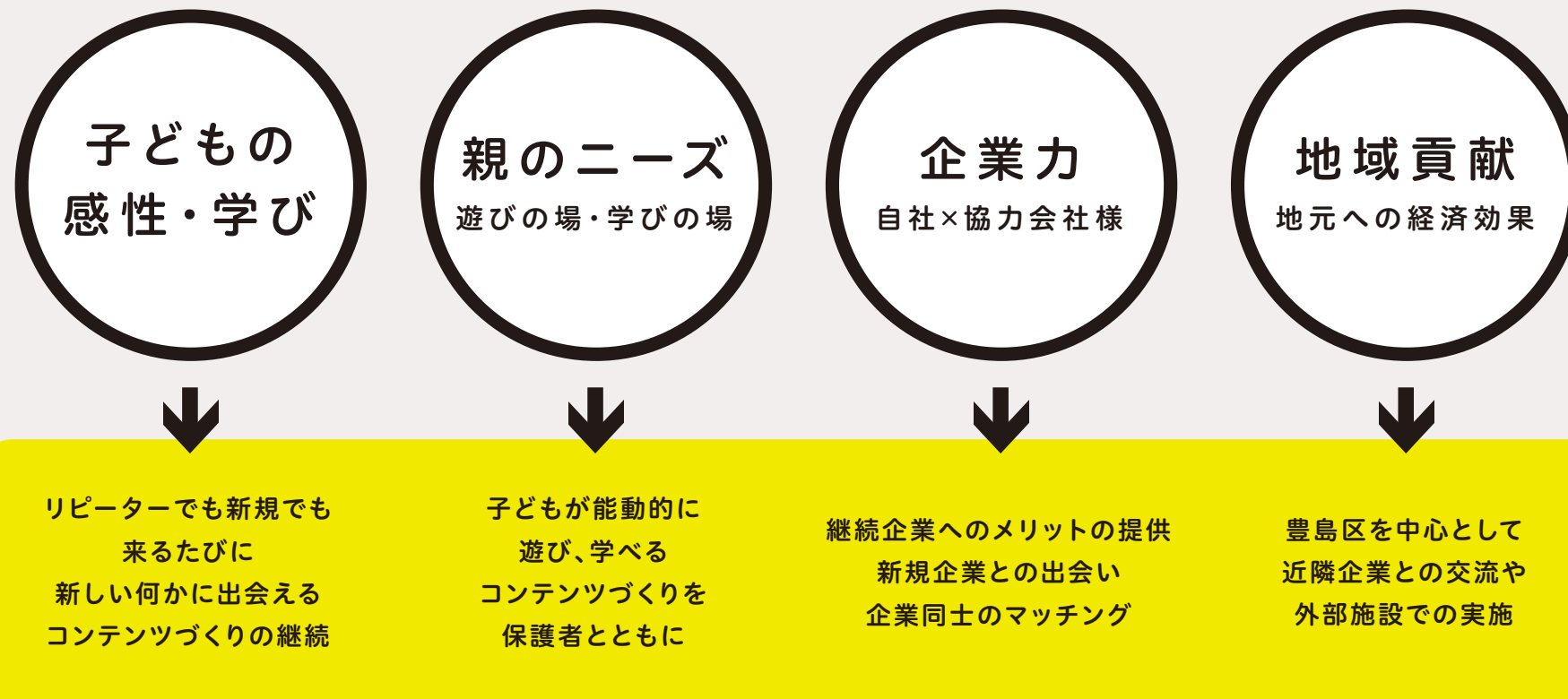
子どもの
感性・学び

親のニーズ
遊びの場・学びの場

企業力
自社×協会社様

地域貢献
地元への経済効果

今後の展開



ストーリーの骨子はずえず、一番大切にしている「あそんで
かんじて かんがえよう」というコンセプトを、来場者様も協
力企業様も関係する人がみんなで築き上げるようなプロジェ
クトへと育てていくことを続けていきたいと考えています。

2024年
実施予定

春
3/23-24
(終了)

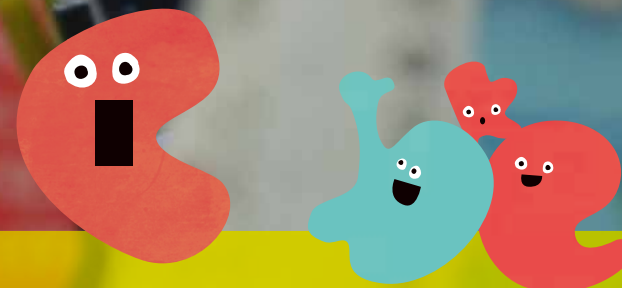
夏
8/23-25
(終了)

秋
11/4
(予定)

冬
12/13-15
(予定)

ご協力を
いただける企業さまを
随時募集しています。
“ちょっとタノシイ”を
一緒につくりませんか？

廃材提供、
ワークショップ用文具、
おみやげ用廃盤品などなど…
ご協力の仕方は
さまざまです！



お問合せはこちら



広報技術研究所
Creative Relations Lab.

> <やってみようえほん展実行委員会>

ehon@kohken-l-p.co.jp

TEL.03-3208-7371

担当：西田夏海